

平成 27 年 9 月 25 日

## 9 月の木材価格・需給動向

### 1. 国産材(北関東)

栃木の丸太生産は天候不順で作業停滞。入荷も少なく 7 月からの入荷量は平年を 30%程度下回る。製品の荷動きが回復基調となり、丸太の引合いは入荷減の中で一層活発化。スギは柱材・中目材とも好調な引合い続き急速に回復。ヒノキは入荷量が極端に少なく全般に引合い強まる。価格は入荷量が依然少ないことから強気配の展開。スギ・ヒノキとも柱材は強含みで推移し、中目材も一気に強含みに転じた。

群馬の製材工場の操業状況は、最悪期は脱した模様。構造材の注文は比較的多いが、羽柄材は少ないので木取方法の工夫必要。構造材は荷動き感あるが、羽柄材は依然悪い。役物は公共事業で多少の荷動きあるが、製品市場で引合い弱い。製品在庫は羽柄材に荷余り感、構造材は少な目。原木の入荷は官材が多く民材は少ない。原木在庫は通常通り。価格は低位安定状態。皆伐を加速化するうえで苗不足や労務不足が問題。

### 2. 米材

輸出向け丸太は、米国・カナダ西海岸で山火事防止のため伐採規制が継続。8 月の加 BC 州の伐採量は、前年同月比 35%まで減少したが、8 月下旬の降雨により今後規制は緩和の見込み。港頭在庫は入荷減少で払底状態、材待ち滞船が継続中。ウェアハウザー社の 9 月積み対日米マツ価格は、8 月積比推定 \$ 15 アップ。7 月の米材丸太の入荷量は 150 千 $m^3$ で本年最低、出荷も 219 千 $m^3$ と反落。在庫はほぼ横這いで 0.9 か月分。国内の大手港湾製材工場の製品販売は回復し前年同月比で増加。米加針葉樹製材品協定に基づくカナダから米国への輸出税は、9 月の 5%が 10 月から無税となる可能性。

米製材品の TLT(東京木材埠頭)8 月の入荷量は 28.0 千 $m^3$ (前月比 16.0%減)、出荷量は 27.1 千 $m^3$ (同 12.0%減)。在庫量は 49.0 千 $m^3$ (同 1.7%増)。ランダムレングス紙 15 種平均価格は、8 月末で前月比 10%安の \$ 309/ $m^3$ 。7 月の米国新設住宅着工は年率 1,206 千戸(前年同月比 10.1%増)。米マツ製品の QTR4 の取引が開始、現地丸太価格は底を打ってじり高の展開。垂木 \$ 404/ $m^3$ 、根太・筋交 \$ 425/ $m^3$ で、国内挽き製品との価格差広がる。盆明け後の急激な円高のあおりで荷動きが鈍り当用買いに逆戻り。大手の中国木材(株)から値上げのアナウンス

なく、各社共儲からない状況が続く展開で先行き不透明。現地山火事は沈静化に向かうが、丸太手当がタイトで今後影響が懸念。

### 3. 南洋材

サバは好天が続き伐採は回復基調。丸太は輸出需要優先で価格は高値で推移。輸出に押され製材工場に回る丸太少なく、製材品の出荷減少続く。サラワクは降雨が続く丸太の出材減が常態化。急激なリングット安で輸出環境は良好だが、出材減と日本側の市況低迷で価格はもみ合い状態。PNG ソロモンはマレーシアの出材減の影響で需要高まり、価格は高値横這い。丸太の入荷は減少、出荷・在庫とも横這い、製材品入荷は横這い。丸太の販売は合板・製材用とも変化なく、製材品は全体的に市況低迷で当用買い中心の動き変らず。

### 4. 北洋材

シベリアは大規模山火事発生で素材生産に大きな影響。ブラーツク・イルクーツクは製材工場に丸太入荷少なく、日本向け出荷が減少。活発だった中国向けは、経済悪化に伴い激減状態。富山新港の8月の丸太入荷は0.8千 $m^3$ 、製品入荷は4.8千 $m^3$ 。丸太在庫は全国で4.1ヶ月分。丸太価格はエゾマツ\$140、カラマツ合板用\$130、アカマツ\$175-180で保合。製材品は現地挽きがABグレード保合、Cグレードと国内挽きは弱含み。荷動きは現地挽きアカマツ30×40ABグレード良好、Cグレードは依然低調。国内挽き製品は期待感あるが不透明。国内の北洋材製材工場は不採算。稼働状況は一部工場で調整中。受注状況は住宅用が依然低迷。

### 5. 合板

原料丸太のうち国産材価格は、カラマツが強含みでスギは横這い。ロシア材は中国からの引合い少なく弱含みで推移、米材は内需好調と山火事の影響で強め、南洋材は相変わらず丸太の集荷難から高値で張り付いたまま。7月の国内総生産量21.5万 $m^3$ のうち針葉樹合板は20.0万 $m^3$ 、出荷量は25.3万 $m^3$ で過去最高値を更新。在庫量は大幅に減って18.6万 $m^3$ 。販売価格は針葉樹合板12mmが2ヵ月で約200円/枚値上げしたが、9月は横這いのままスタート。メーカー出荷は好調だが実需が感じられない中で価格維持が困難な状況。

国産針葉樹合板は6-7月の大量出荷、メーカーの減産と需給調整で品薄状態が続く。輸入合板はコスト高に入荷減があってもそれ以上に荷動き鈍く、価格転嫁が厳しい中、今後も一進一退の攻防が続く見通し。先行き国産針葉樹合板は9月も減産継続で、メーカーによっては8月以前の受注残の対応見られる。輸入合板は低水準の入荷が続く、現地のコスト高の中で当分綱引き状態続く。

流通在庫は針葉樹合板で若干の不足感。荷余り品目は無く、品薄品目は針葉樹合板（3×6 12mm）、長尺合板で不足感。

## 6. 構造用集成材

原料ラミナの入港は順調、8月入港分は円ベースで上昇。今後ユーロ高が予想され、ラミナ価格は下がらない見込み。国産集成材の8月受注は減少、プレカット工場も一服感から構造材の荷動きは減少。輸入間柱は入港減で動き良く、品薄のためスギKDに変更見られる。販売先行きは9月以降プレカットの稼働が良く、多少増加と予測。在庫は例年並み。価格動向は、8月にメーカーが原料高から値上げを唱えるも、荷動き悪く据え置き。9月はWW柱、間柱が値上げ、RW梁桁は長物、角物で値上げ傾向。輸入集成材はQTR3買手がつかず下げたが、年内は入港少なくこれ以上下がらず。

## 7. 木材チップ

チップ用原木はバイオマス発電用に流れ、製紙向け入荷は減少。針葉樹チップの引合い強いが、原木不足で生産量増えず。在庫は減少。チップ原木は価格低迷で出材状況悪く、輸入チップは広葉樹中心に入荷旺盛。チップ価格はバイオマス発電と一部製紙工場の集荷増で値上がり。バイオマス発電所の立地地区のチップ工場は、原木の入手困難で稼働率が低下。

## 8. 市売問屋

国産材の構造材は、ビルダーの仕事量が多少上向くも、スギ、ヒノキの柱・土台は低調のまま。造作材は建具用桤平に多少の動き。外材の構造材は米ツガ、米ヒバの入荷少ない。造作材はスプルース等良材の入荷少なく対応に苦慮。9月に入り記念市は多いが、大工・工務店の仕事量にバラツキがあり、買方の必要当用買いの姿勢に変化ない。最近の天候不順で現場の進捗が悪く、需要の伸びが見られず。

## 9. 小売

国産材の構造材はスギ柱・間柱、ヒノキ土台・柱とも保合。外材はロシアアカマツタルキが保合、米ツガKD角、平割とも保合、SPF保合、WW間柱保合。造作材はスプルース良材、ツガ、タモ保合。集成材はWW、RW梁、柱とも保合。合板は針葉樹が強保合、輸入ラワン構造用は保合。床板・フロア保合。プレカット加工は順調に推移。各工務店とも幾分活気が出てきた模様。

9月の需給・価格動向

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	→	→	→
	製材品	→	→	→
北洋材	丸太	↘	→	↘
南洋材	丸太	→	→	→
	製材品	→		

矢印の表示は今月に対する翌月の動向を、下記のように示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸入量		
	計	インドネシア	マレーシア
→	→	→	→

3. 価格動向

樹材種	形状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材 (3m) 2等	↗
			スギ中丸太 (3.65m) 2等	↗
			ヒノキ柱材 (3m) 2等	↗
			ヒノキ中丸太 (4m) 2等	↗
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角 10.5×10.5×3m 特等	→
			スギ柱角 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ柱(KD) 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギ間柱 10.5×3.0×3m 特等	→
			スギタルキ 3.0×4.0×4m	→
		ヒノキ柱角(KD) 12.0×12.0×3m 特等	↘	
		ヒノキ土台角 12.0×12.0×4m 特等	↘	
米材	丸太	産地価格 国内卸売価格 (京浜・オントラ)	米マツ ISタイプ	↗
			米マツ カスケード (カナダ産)	→
			米マツ ISタイプ コースト	→
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き) (国内挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角(KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	→
			米マツ桁角(GR) Std&Btr S4S 4・1/8” 13’	→
			米ヒバ土台角(GR) Std&Btr 4・13/16” 13’	↘
		米マツ平角(KD) 特等 10.5×24.0×4m	→	
南洋材	丸太	産地価格 東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー	→
			メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用	→
			メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用	→
	製材品	産地価格 東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトセラヤ 平割 (サバ州産)	→
同上2.4cm×込み×4m 定尺1等			→	
北洋材	製材品	国内卸売価格 (京浜・オントラ)	アカマツ(KD) 30×40 AB	↗
			アカマツ(KD) 15×45AB 18×45AB	↗
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 間柱 2.7×10.5×3m S4S FOHC	↗
			ホワイトウッド ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺	↗
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ	↗
			スギ 無化粧 JAS 5プライ	↗
	欧州産	//	10.5×10.5×2.98m	↗
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	→
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	→
			型枠 12.0mm厚 3×6	→
			針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	↗